JEFF ROWLAND
DESIGN GROUP

AERIS DAC

取扱説明書

株式会社太陽インターナショナル
〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-12-9
日本橋グレイス 1F
Tel ： 03-6225-2777　Fax ： 03-6225-2778
<URL> http://www.taiyo-international.com

目次

はじめに. 2
本機の特徴. 3
ご使用になる前に（安全にお使いいただくために）. 5
パッケージの中身. 6
パッケージの開梱. 6
メンテナンス、お手入れ、保護システムについて. 7
設置について. 8
設置方法. 9
リアパネル. 10
フロントパネルコントロール. 11
外部パワーサプライ. 12
リモートコントロールの操作. 13
リモコン電池交換手順. 14
ボリウムコントロール. 15
出力接続. 17
デジタルオーディオ入力接続. 15
故障かな？と思ったら 19
アフターサービスについて. 20
仕様. 21
問い合わせ先. 22

はじめに

ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループのオーナーとなられましたことを、心よりお喜び申し上げます。お買い上げいただいたAeris Dacは、ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループ初のD/A コンバーターです。Aeris Dacの綿密に設計された内部と精密に作り出されたシャーシー、製造技術の確かさは、リスナーに大きな満足と喜びを提供し続けることでしょう。

Aeris Dacの設計理念を理解していただきその最高の性能をフルに引き出すためにも、是非このオーナーズマニュアルをお読みくださるようお願い申し上げます。

お買い上げのAeris Dacのシリアルナンバーは、DSおよびFの文字から始まります。このナンバーは保証書及び本体のリアパネルに記載してあります。Aeris Dacに関するお問い合わせの際には、必ずこのシリアルナンバーをお知らせください。

音やアーティストの表現を再現する際の高邁な理想を実現できるようなアンプをデザインすることは、私にとって純粋な喜びです。この喜びがオーナーの方々の音楽体験をより豊かにできれば幸いです。

Enjoy the music!

ジェフ・ロゥランド
ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループ　プレジデント

本機の特徴

● アイソシンクECS

隔離されたシンクロノスエラー補正システム。エイシンクロノスバッファー、電圧制御クリスタル発振器、２４ビットDACにより構成されています。そのすべては独自のアルゴリズムによって運転されているFPGA（プログラム可能ゲートアレイ）によって精密コントロールされています。

● ビットパーフェクト

USB,TOSLINK,SPDIFの入力すべてに対し、１０ピコセコンドRMS以下の総ジッター量ビットパーフェクト変換。

● マルチステージ隔離PS

メインパワーサプライは切削加工アルミブロックによる別筐体。１１個の超精密ハイスピードレギュレーターは低インピーダンス、ローノイズDC電流をすべてのアナログ、デジタル回路に供給します。

● デジタル、オーディオ回路の分離

左右オーディオ出力チャンネル、デジタル処理、DAC回路は切削加工された筐体内のチェンバーに収納され、EMIシールドと温度安定性が抜群になりました。

● ボリウムコントロール

出力レベルコントロールは非常に広範囲にわたっており、パワーアンプとの直接接続を容易にしました。

● ドライバーフリーオペレーション

USBインターフェィスは追加的なドライバーを必要としません。

● クロスプラットフォーム

USBインターフェィスはプラグインでプレィ設計。　PC,　Mac,リナックスなどの基本OSに対応します。

● 切削加工

コヒレンス以来、ロゥランド独自の製法による6061-T6航空機グレードアルミブロック削り出しシャシーを採用。温度的安定性、RFI/EMIシールド、共振制御にすばらしい能力を発揮します。

● ６層基盤

６層基盤は超低インピーダンスグラウンドを保証し、パワー供給についてもデジタルノイズ汚染を極端に低減する効果があります。

● 高品質表面実装パーツ

無鉛、低温関連、アクティブ、パッシブ表面実装部品の広範囲な採用によって、極小ループ、回路キャパシタンス、インダクタンスの減少を得ることができ、伝統的な回路に比べてノイズ面での効果が絶大となりました。

● 出力トランス

トランスを出力計等に採用することによって理想的なコモンモードノイズキャンセルを得、グラウンドループポテンシャルを低減させるとともに、関連オーディオ機器との最適な条件での組み合わせが可能となりました。

● リモートコントロール

ボリウム、ミュート、スタンドバイ、入力選択が行えます。

ご使用になる前に（安全にお使いいただくために）

本機をご使用になる際には、安全上のご注意をよくお確かめ下さい。
以下の注意事項は安全にお使いいただくために大切な内容です。必ず守るようにして下さい。

⚠ 警告：誤って取り扱うと、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。
⚠ 注意：誤って取り扱うと、傷害又は物的損害などの発生に結びつく可能性があります。

[設置上のご注意]

⚠ 警告

・定格電圧ＡＣ 100V にてご使用下さい。
・付属の AC 電源ケーブルは、本機専用ケーブルですので他の機器に使用しないで下さい。
・ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行って下さい。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になります。
・AC 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いて下さい。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
・AC 電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねっじったり、継ぎ足す等の加工は行わないで下さい。火災や感電の原因になります。
・本機の改造や部品の変更は絶対しないようにして下さい。火災や感電、故障、ケガの原因になります。
・水など塗れた手で電源ケーブルを抜き差ししないで下さい。感電の原因になります。
・本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないで下さい。感電や火災の原因となります。
・万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態が起きた場合は、すぐに AC 電源ケーブルを抜き、異常状態がおさまったことを確認してからお買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼して下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

・本機を設置する際にはこの取扱説明書に従って確実に行うようにして下さい。
・本機の取り出し、及び設置する際には細心の注意をし、慎重に行うようにして下さい。落下等でケガや物損を招く原因になります。
・湿度の多い場所で使用しないで下さい。結露等により故障の原因となります。
・ゴミやホコリの多い場所では使用しないで下さい。
・室内温度が５℃～４０℃の範囲でご使用下さい。
・振動が多く、水平でない場所には設置しないで下さい。機器の落下等でケガや物損を招く原因になります。
・オーディオラック等に納めてご使用になる場合、通風をしっかり取るなど熱のこもりには充分注意して下さい。故障の原因になる場合があります。
・ＡＣ電源に、クリーン電源・安定化電源等の装置はご使用にならないで下さい。故障の原因となる恐れがあります。
・電源投入時や切る際には DC ケーブルがしっかり接続されているか確認してから行ってください。またご使用中には DC ケーブルは絶対に抜かないでください。

[お手入れについて]

・本体の汚れは、柔らかい乾いた布（シリコンクロス等）で軽く拭き取ってください。ベンジンやシンナーなど揮発性の薬品のご使用は、絶対におやめください。本体の表面が変質する恐れがあります。

⚠ 注意

・リアパネルの端子等のお手入れの際には、必ずＡＣ電源ケーブルを抜き電源をお切り下さい。感電の原因となることがあります。

パッケージの中身

本機のパッケージには下記のものが含まれています。

- Aeris Dac　本体
- 電源部
- DC ケーブル
- リモートコントロール
- ＡＣ電源ケーブル
- ３P アダプタ
- 保証登録書
- 取扱説明書

注意：付属の AC 電源ケーブル、DC ケーブルは、Aeris Dac 専用ケーブルですので他の機器に使用しないで下さい。

パッケージの開梱

本機は重量があります。本機の取出し、及び設置の際には細心の注意で慎重に行なって下さい。落下等で怪我や物損を招く原因となります。開梱は柔らかい表面のカーペット等を敷いた上で行なってください。

開梱後のカートンケース、及び内部パッキン等は、後日の修理及びお引越等で輸送される場合に備えてお手元に保管されるようお勧めします。

※ 本製品は米国ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループ社、及び当社において外観、機能ともに入念な検査を重ねて出荷しておりますが、輸送中などの万一のトラブルを考え、ご使用になる前にどこかに損傷がないかを必ずご確認ください。また到着したアンプが正しく作動しないときは、すぐお買い求めの販売店までご連絡ください。

メンテナンス、お手入れ、保護システムについて

ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループの製品は、長年に渡りその音楽的性能をお楽しみいただけるように設計されております。

内部に埃が入らないようにシャシーは密封構造となっており、シャシー内部をクリーニングする必要はありません。アップデート、および修理の際には、お買い求めの販売店か当社サービス課までご相談ください。

Aeris Dac のシャシーは航空機グレードのハード・アルミニウムによるくり抜き加工という、コストを無視した革新的な構造になっています。フロントパネルはダイヤモンド・カッティングツールで削り出されています。このユニークな工程は、美しく魅力的な製品をお届けするために、長年の研究、試行によって完成されたものです。

表面は通常のオーディオやビデオの表面とは異なっていますので、お手入れの際は以下の点にご注意下さい。

・フロントパネルは自動車産業企画のポリウレタンコートがなされており、完全に付着するまでに時間がかかります。最初の６ヶ月間はフロントパネルのクリーニングは行わないで下さい。この間に表面のコーティングが定着し、表面の傷を防ぎます。

・トップカバー、サイドカバー、ボタンカバーは、水で湿らせた柔らかい綿布で拭きます。水はシャシーには直接つけず、布につけます。シャシーに跡が残った場合、研磨剤や化学物質によるクリーナーは使わないで下さい。クリーナーが必要な場合は、アンモニアを含まないプラスチック・クリーナーまたはガラス・クリーナーをご使用ください。

・フロントパネルのお手入れには、水またはオイルベースの家具用クリーナーを使用します。必ず

柔らかい綿の布につけてから拭いてください。フロントパネルは非常に繊細な仕上がりですので、他のもので拭いた場合、目立つ傷がつく可能性があります。

＜保護＞

雷の発生が予想される場合や雷が発生している場合には誘導雷等に対して内部の回路のダメージを回避するため、アンプの AC 電源ケーブルは抜いておいてください。他のオーディオ、ビデオ等の機器も同様に AC 電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。
また長期間使用しないときにも AC 電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。

- AC 電源については、日本ではあまり一般的ではありませんが、グラウンドを取った電源をご使用になることをお勧めします。グラウンドを取ることができる３ピンコンセントもありますので、条件が許す限り、アースグラウンドの使用をお勧めいたします。

- Aeris Dac はエネルギー効率が良いため、長期間ご使用にならない場合以外には電源を落とす必要はありません。ご使用にならないときはミュート状態にしておくこともできます。

設置について

設置に関しての注意事項

本機の設置場所は、できるだけリアパネルの操作が可能な場所に置いてください。

本機は最も効率的なオペレーション、あらゆる環境下での最高のパフォーマンスが可能なように、広範囲にわたる保護回路を有しています。しかしアンプを正常動作させるため、以下の基本事項に着目しておいてください。

・定格電圧 AC100V にてご使用下さい。
・湿度の多い場所では使用しないで下さい。
・ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行って下さい。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になりかねません。
・AC 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いて下さい。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
・AC 電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねっじったり、継ぎ足す等の加工は行わないで下さい。火災や感電の原因になります。
・本機の改造や部品の変更は絶対しないようにして下さい。火災や感電、故障、ケガの原因になります。（改造されたものは、保証期間内でも保証の対象外となりますのでご注意ください）
・水などで濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないで下さい。感電の原因になります。
・本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないで下さい。感電や火災の原因となります。
・万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態が起きた場合は、すぐにＡＣ電源ケーブルを抜き、異常状態がおさまったことをご確認の上、お買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼して下さい。そのままの状態でご使用になると、火災・感電の原因になります。
・使用の際は、正しくグラウンドされた AC 電源を使用してください。３ワイヤのグラウンドされた AC ケーブルターミナルが正しくセットされていなかったり、誤って２ワイヤのグラウンドされていない AC コードが使用されている場合、故障の原因になりかねません。
・雷の発生が予想される場合や雷が発生している場合には誘導雷等に対して内部の回路のダメージを回避するためアンプの AC 電源ケーブルは抜いておいてください。他のオーディオ、ビデオ等の機器も同様に AC 電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。また長期間使用しないときにも AC 電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。
・ＡＣ電源に、クリーン電源・安定化電源等の装置はご使用にならないで下さい。故障の原因となる恐れがあります。
・電源投入時や切る際には DC ケーブルがしっかり接続されているか確認してから行ってください。またご使用中には DC ケーブルは絶対に抜かないでください。

設置方法

1 Aeris Dac は水平の棚、ラックなどに置きます。パワーサプライは本体から DC ケーブルの長さの範囲内に設置します。DC ケーブルの装着には , ゆっくりと確実に行ってください。

2. AC 電源を AC ケーブルで接続します。念のため、電源のメインスイッチは切った状態にしておいてください。※ 故障の原因となりますので、必ずパワーサプライと本体の DC ケーブルが接続されたことを確認してから AC ケーブルの接続を行ってください。

【注意：電源を入れてからパワーサプライとプリアンプを接続しようとすると、端子からショートされてプリアンプ・パワーサプライ内部のフューズを飛ばします。フューズ交換は基板の半田付けが必要ですので、必ず輸入代理店への返送いただくことになります。接続順序は厳守お願いします。】

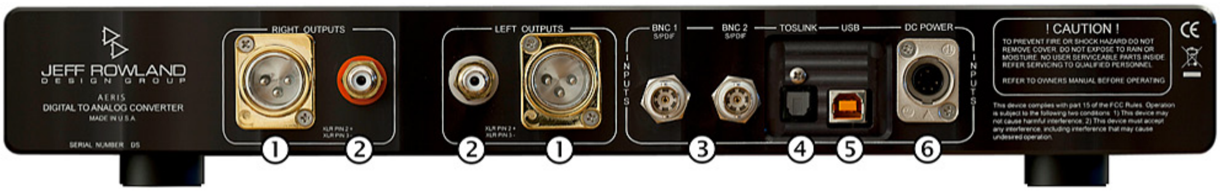
3 Aeris Dac の設置が整いましたら、他のオーディオ機器との接続を行います。

4 全て入力接続が完了いたしましたらパワーサプライの電源スイッチを入れます。
Aeris Dac はエネルギー効率が良いため、長期間ご使用にならない場合以外には電源を落とす必要はありません。ご使用にならないときはミュート状態にしておくこともできます。

⚠ 注意

付属されている DC ケーブル以外は絶対に使用しないでください。アンプの故障の原因となります。他のケーブルを使用した場合は保証の対象外となります。

リアパネル



① バランス出力

１ペア XLR バランスラインレベル出力。本気の能力を最高度にするために、バランスでパワーアンプ、プリアンプとの結線を推奨いたします。

② アンバランス出力

１ペア RCA ラインレベル出力。プリアンプ、パワーアンプにバランス XLR 入力が装備されていないときにお使いください。また、第二アンプとの同時接続も可能です。

③ デジタル入力

BNC x 2 (SPDIF) は高品質７５Ω デジタルケーブルによって接続すると本気の性能を最高度に発揮されます。

④ デジタル入力

TOS リンク　x １　光ファイバーケーブルによって接続します。

⑤ USB 入力

USB x 1 はタイプ B でタイプ B、タイプ A USB を通じて PC との直接入力ができます。アエリス DAC は PC のサウンドカードに対し、独立して作動します。

⑥ DC パワー入力

パワーサプライとアエリス DAC とを結線するターミナルです。

フロントパネルコントロール

① 入力

入力選択ボタン。TOS リンク、USB、BNC1, BNC2 が選択できます。LED は選択された入力を知らせます。

② スタンドバイ

スタンドバイモード、オンを切り替えます。スタンドバイモードが選択されるとボタン上の LED が暗く点灯します。

③ サンプルレート

入力のサンプルレートを知らせる LED が点灯します。サンプルレートは 44.1, 48, 88.1, 96, 176.4, 192 です。

④ SRC

標準ではないサンプルレートを検知した場合に点灯します。

⑤ ロック

選択されたデジタルオーディオ信号が有効であれば、そのサンプルレートも上記③の通り LED が点灯し、アリエス DAC がデジタルロックされると LOCK の上にある LED が点灯します。

⑥ 赤外受光部

リモートトランスミッターによる赤外信号を受ける部分です。

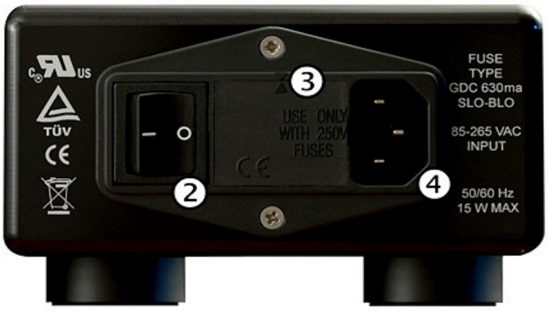
⑦ ミュート

MUTE ボタンを押すと出力すべてがミュートされ、上部の LED が点灯します。ミュート状態からもう一度押すと、ミュート解除となり音楽信号が出力されます。

⑧ ボリウム

左側のボタン VOL- を押すと音量が下がり、右側のボタン VOL+ を押すと音量が上がります。

外部パワーサプライ



① DC パワーサプライ

専用のパワーサプライケーブル１本によってアリエス本体と接続します。

② パワースイッチ

パワーサプライのオン（–）、オフ（o）ス
イッチです。スイッチをオン（–）にする前に、アリエス本体、パワーサプライ、AC ケーブルがすべて正しく接続されていることをご確認の上、スイッチをオン（–）にしてください。

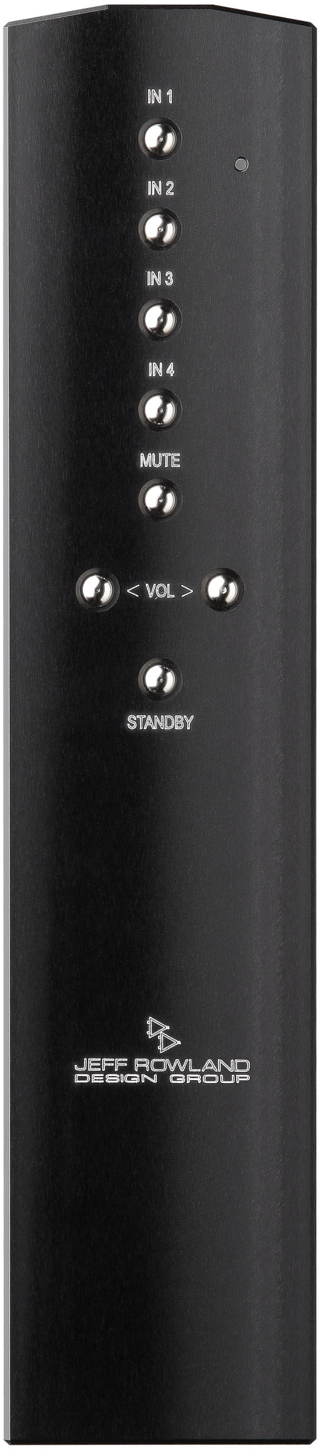
③ フューズボックス

使用するフューズは GDC 630mA スローブロゥタイプです。

④ AC 入力

付属の専用 15A パワーケーブルを差し込みます。

リモートコントロールの操作



入力 1-4

次の順番で入力を選択します。USB,TOS リンク、BNC1, BNC2

MUTE

アリエス DAC 出力をミュートします。ミュート状態からこのボタンを押すと、ミューと解除となり、演奏状態となります。

VOL UP/VOL DOWN

入力ボリウムを調整します。右側のボタンを押すと音量が上がり、左側を押すと音量が下がります。

STAND BY

スタンドバイモードと演奏状態（オン）を切り替えます。スタンドバイ状態ではフロントパネルの LED が暗く点灯します。

ACTIVITY LED

OUT 2 OFFSET メニューに入り、アンバランスメイン出力 B のレベルを調整します。

ENTER、EXIT ボタンでこのモードが終了します。

REC OUT VOL +/-（録音出力ゲイン調整）

赤外線が放射されているときに点灯します。薄く点灯した場合にはバッテリーが弱くなっているので、交換が必要です。

リモコン電池交換手順

使用する電池はアルカリ単三電池２個です。リモートコントロールの到達距離が短くなったり、作動しなくなったときには、電池交換をしてください。

マイナスドライバーを使用し、リモコントランスミッターの下部にあるネジを緩めます。

カバーを外します。

古い電池を取り出し、新しい電池を−側から左の電池室に入れます。（電池の＋位置を記憶してください。）

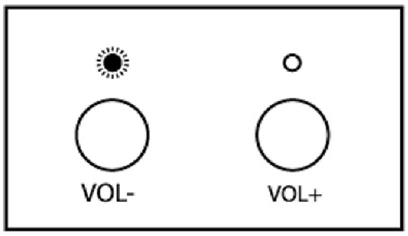
右側の電池室には＋を先にして、電池を入れます。

スプリングのついたカバーを装着しネジをゆっくり締め付けてください。

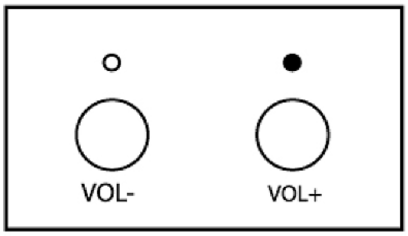
注意：古い電池を取り出してから、リモコン回路を完全に放電させるてめに、新しい電池を入れるまで最低 30 分は待ってください。

ボリウムコントロール

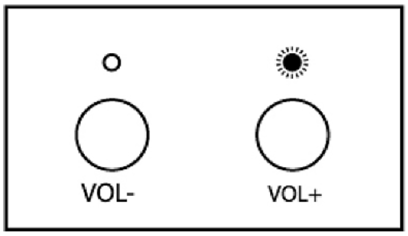
ボリウムコントロールはLEDが点滅している状態から32dB下げられるように設計されています。右側のLEDが点滅し始めている状態では、アエリスDACはフルスケールからボリウムが20dBまで増加する計算をしています。この点滅状態はダイレクトにアンプをドライブし、聴き手がクリッピングを気にせず大音量で聞きたいときのものです。



左LEDの点滅
ボリウムが-32dB以下の状態にあることを示します。



右LED点灯、左LEDなし
この状態で、最大の音量です。(解像度のロスがない）プリアンプをご使用の場合にはこの状態で使用します。



右LEDの点滅
フルスケールからデジタル演算が最大20dBまで上昇することを示しています。

デジタル Vs アナログ　ボリウムコントロール

32dB のボリウム調整は厳しい観賞用のリスニング用のフルレンジレベルをカバーし、信号レベルには全く犠牲を強いていません。ボリウムレベルの調整は、DAC の基準となる電圧の調整を行っているからです。ということは、ボリウムはデジタルまたはアナログの領域においての調整をしていないということです。アエリス DAC はアナログ　ボリウムコントロールの回路をあえて搭載していません。ボリウム回路を挿入することは、回路自体を複雑にするし、それによって起こりうる信号ロスを防ぐために外なりません。

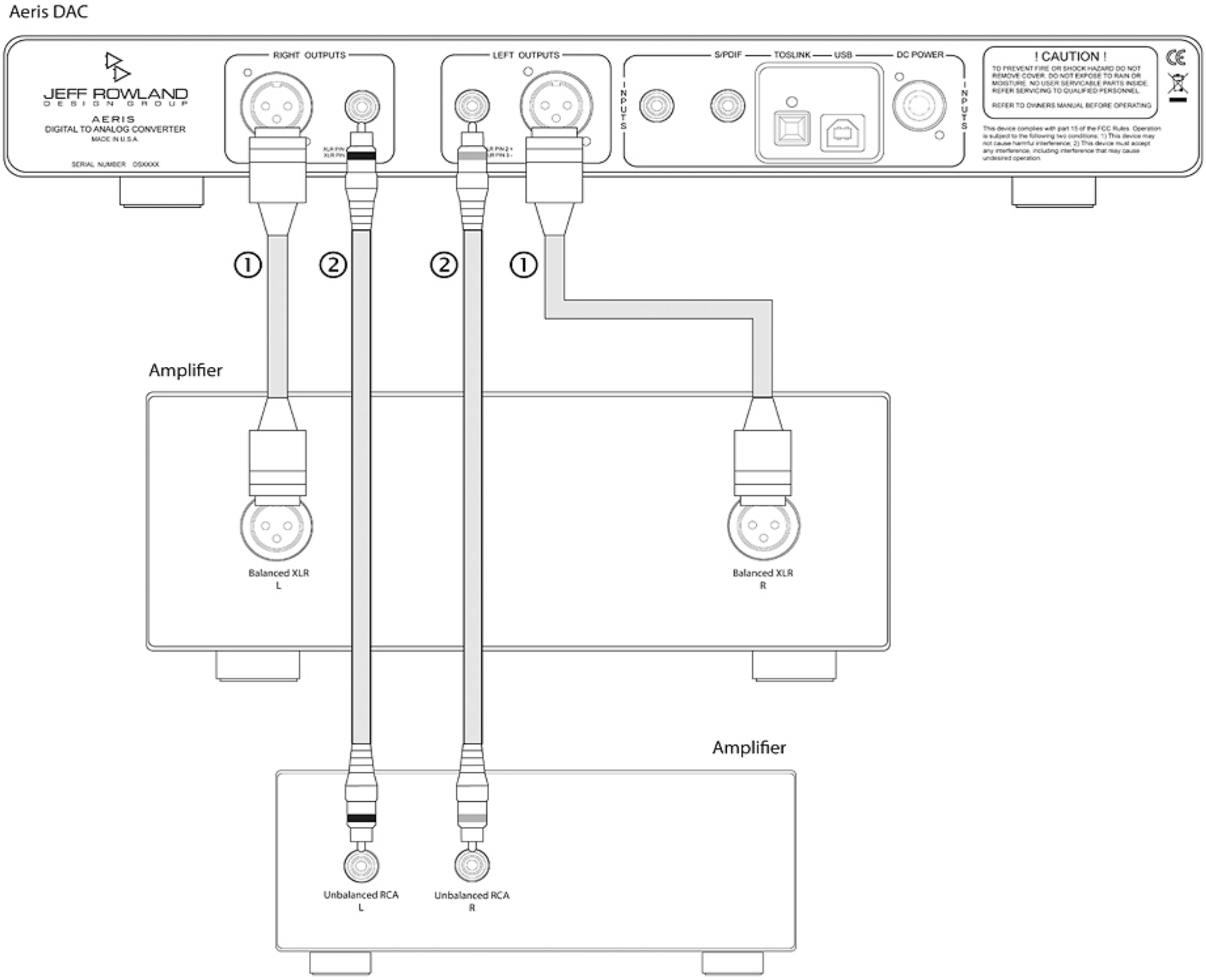
アリエス DAC をプリアンプと使用する

フルスケールのボリウムレベルは右側のボリウム LED が最も明るく輝いている状態で、かつ点滅していないところです。プリアンプと組み合わせてご使用になる場合には、アエリスのボリウム位置はこの設定位置が最大です。これ以上ですと、点滅してプリアンプはオーバーロードになってしまいます。

アリエス DAC をアンプと直結して使用する

アリエス DAC はアンプに直結しても十分なドライブ能力があります。しかし、時としてボリウムレベルを上げて、LED が点滅状態で使用する場合もままあります。

出力接続



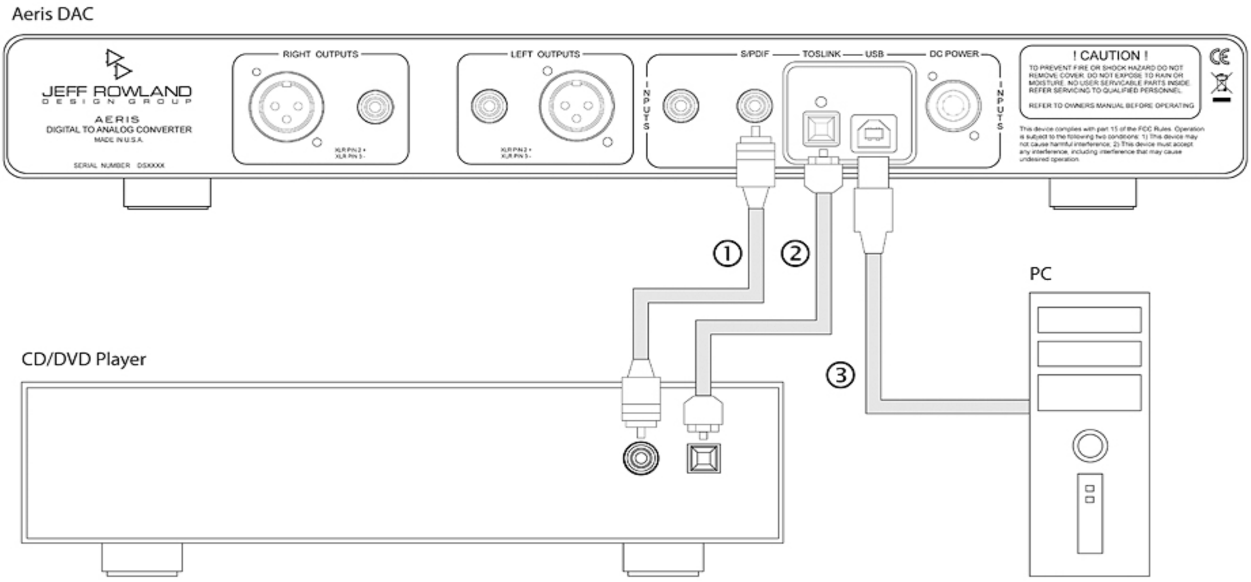
① バランス XLR
最高の音質にはバランス出力から、上質の XLR インターコネクトケーブルでプリアンプ、またはパワーアンプへの結線をお勧めします。

② アンバランス RCA
ご使用のプリアンプ、パワーアンプにバランス入力がない場合には、このアンバランス出力を使用します。この出力によって異なる（第二システムの）アンプに結線することもできます。

デジタルオーディオ入力接続

⚠ 注意

すべての結線が終了するまで本機の電源はオフにしておいてください。



① SPDIF(BNC)

SPDIF は２つの BNC 入力があります。高品質の 75Ω デジタルケーブルによって最高の音質を楽しめます。

② TOS リンク

オーディオ用に設計された光ファイバーケーブルによって結線します。

③ USB

USB　タイプＢ‘ポートです。PC はタイプＢ　もしくはタイプＡ　USB リードによってダイレクトに結線します。アエリス DAC は PC のサウンドカードとは独立して作動しています。

故障かな？と思ったら

　故障とお考えになる前に、下記の点を確認してみてください。

電源が入らない
・パワーサプライのＡＣ電源ケーブルは、正しく接続されていますか？
・コンセントにAC100Vが通じていますか？

音が出ない
・オーディオケーブルは、正しく接続されていますか？
・アンプのボリュームレベルは、上がっていますか？
・アンプのラインセレクターは、合っていますか？
・ミュートボタンが押されていませんか？

リモートコントロールが働かない
・電池電圧が低下していませんか？

　以上、上記の項目をご確認の上なお製品に異常が見られる場合は、お買い求めの販売店又は当社サービス課までご相談ください。

アフターサービスについて

・同封の保証登録書に必要事項をご記入の上、ご購入後１０日以内にご返送ください。折り返し当社発行の保証書をお送りいたします。規定通りの手続きをなさらないと、保証期間内でも有償修理となる恐れがありますので、ご注意ください。なお、「保証書」は製品無償修理の際、必ず必要となりますので、お客様ご自身で記載内容をご確認の上、大切に保存してください。

・保証期間はお買い上げより１年です。保証期間内に正常なご使用状態で起きた故障等は保証書記載事項に基づき、無償修理いたします。

・故障と思われる場合にはこの取扱説明書をよくお読みになり、再度接続と各部の動作、点検をしていただきなお異常のある場合には、お買い求めの販売店、又は当社サービス課までご連絡いただき、修理をご依頼ください。

仕様

入力	USB（B タイプ）x 1	24bit PCM　サンプルレート　44.1, 48, 88.2, 96k Hz
	TOS（光）x 1	24bit PCM サンプルレート　11 - 192 kHz
	SPDIF(BNC)　x 2	24bit PCM　サンプルレート　11 - 192k Hz
出力	XLR　x　1	7v RMS（最大出力レベル）
	RCA x 1	
ソフトウェアドライバー		特別なドライバーは不要 USB は PC、Mac, Linax からの出力に対応
クロック（2X）		20bit ダイナミックレンジ VCXO 44.1/48kHz RMS ジッター 10 ピコ秒以下
DAC		差動出力　352.8kHz, 24bit
デジタルフィルター		FIR シンメトリ　フラットフェィズ、グループディレィ
THD+N アナログ出力		0.0006% 以下
出力インピーダンス		XLR/RCA　　120Ω
消費電力		最小 15W
外寸（mm）		395mm(W) × 62mm(H) × 311mm(D)（本体） 122mm(W) × 73mm(H) × 280mm(D)（パワーサプライ部）

※ 本機の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ先

株式会社 太陽インターナショナル

〒103-0027

東京都中央区日本橋 2-12-9

日本橋グレイス 1F

TEL : 03-6225-2777（代表）

03-6225-2779（サービス課）

FAX : 03-6225-2778

ホームページ : http://www.taiyo-international.com

2011.12.27